

教師も子供も
 「いつも・ちょっと・楽しく」
 端末を活用するヒントを掲載!!!



1. 小学校重点目標について

- ・主体的なICT活用による学びの深化
 ～児童が自立的に学びを進める学習をめざして～
- ・情報を正しく安全に利用できる能力の育成

今年度は、「ICTを活用することに習熟し、児童自身が学習のねらいを達成するための手段としてICTを活用する姿」を目指しています。



詳細は、
 徳島県GIGAスクール構想ホームページ
 をご覧ください。
<https://gigaschool.tokushima-ec.ed.jp/>

DALL-E 3により作成

2. ICT活用の日常的・効果的な活用の3つのポイント



POINT 1

「カメラ」機能を使う授業場面をつくる

- ① 板書、体験活動などを子供や教師が撮影する
 →クラウド活用で、いつでも誰もが振り返り可能に
- ② 制作過程の作品などを子供自身が撮影する
 →気づきを記録し、自分の伸びや課題が分かるように



何度も録音し、家の人に選んでもらい提出しました。



POINT 2

「アンケート」機能を使う授業場面をつくる

- ① 場所や時間に縛られずに子供が情報収集する
 →学級や学年を超え、遠くにいる相手にも調査が可能に
- ② 瞬時に学級全員の意見や考えを共有する
 →学級の傾向が見える化し、学習成果の客観的な把握に



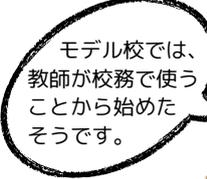
テストモードは、採点・集計も自動だからこそ、学力保障と業務改善の一挙両得につながられます。



POINT 3

「共有」機能を使う授業場面をつくる

- ① 一つのシートをグループで共同編集する
 →グループで分担し、協働による作品の制作が可能に
- ② 共有シートで意見を短時間で収集する
 →途中経過を友達と見合い、学習の調整に



モデル校では、教師が校務で使うことから始めたそうです。

共有機能：同じシートを開き、同時に複数の子供で作業をすること

3. ICT活用モデルA・M段階の好事例紹介

前期学校訪問より

写真は生成AI (DALL-E 3) 作成

＼実験を記録して／



理科の植物の実験・観察をしている場面。「観察、実験の代替」としてではなく、映像・画像を保存しておくことで、各班の結果等と比較したり、後の分析や総合的な考察の裏付けに利用したりしていた。さらに、ICTを活用することで、着目するポイントを明確にし、差異点や共通点を明らかにすることができる。新たな気付きや発見につながることも期待できるだろう。(八万南小学校)

＼自分のペースで／



算数科の180度を超える角の大きさの測り方を考えている場面。授業者は、まず子供たちが自分で解き方を考える時間を設定していた。タブレットには、レベル1～5までの問題シートが用意されていた。これにより、授業者が一律的に解き方を説明するのではなく、子供たちが自分のレベルやペースに合わせて課題に取り組むことが可能となった。各自がゴールまでの過程を自己調整しながら進めることができるよう工夫されていた。(加茂小学校)

＼共有ノートで／



社会科のイラスト資料を見て、気付いたことや考えたことを共有する場面。子供たちはまず、自分たちが気付いたことを各自ノートにまとめた。その後、学級全体で意見を共有する。従来の授業では、子供が発表し、先生が板書し、全員が写す流れが一般的だが、この学級では、友達の発表を聞いた任意の子供が全体共有ノートに文字入力を行っていた。そのため、意見の交流が大変活発であった。(神宅小学校)

ICTの活用法について、改めて校内研修や職場の先生との情報交換の場で共有してみてください。また、活用の主体である子供たちの感想を聞き、使い方の工夫やアイデアを募り、一緒に授業をつくることも、子供たちが主体的に学ぶ方法の一つとなるかもしれません。

4. 生成AIの校務での活用の好事例

アンケート結果の分析、改善方法の提案

プロンプト例

～に関するアンケートの自由記述欄の回答について、否定的な意見として代表的なものを5つ抽出し、それぞれに対する対応策を考えてください。

#条件

- ・意見の内容を踏まえ、多いものから5つ選んでください。
- ・代表的な意見については、回答内容から引用してください。

#自由記述欄の回答内容

(自由記述欄に記載された内容を貼り付けする)

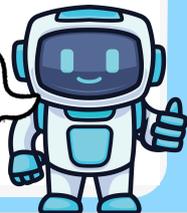
生成例

運動会に関するアンケートの自由記述欄から否定的な意見を抽出し、その対応策を考えます。票数を参考にして、最も多かった意見から順に示します。

否定的な意見と対応策

- 「午前中の方が体力的にも負担が大きい。」
・対応策: 運動会のスケジュールのアクティビティや観客参加型のイベントを増やす。
- 「午後の日差しが強い中での活動は避けたい。」(票数: 4)

生成AIは先生の仕事を助ける可能性を秘めた便利なツールです。



授業用のサンプル教材等の作成

プロンプト例

#役割

あなたは小学校6年生の教師です。

#目的

児童に誤りを含む説明文を見せて、どこに誤りがあるか考えさせることを目的に、誤りを含む説明文を書いてください。

#条件

- 1:400文字程度
- 2:織田信長を紹介
- 3:トピックは「楽市楽座」、「鉄砲」、「貿易」
- 4:各トピックについて説明文は2つずつ。
- 5:誤りは「楽市楽座」の説明箇所。
- 6:それ以外は正しい記述

#出力形式 文章

生成例

織田信長は経済政策においても革新的な試みを行いました。特に有名な政策として「楽市楽座」のもとで、信長はすべての市場を規制し、商人たちが市場で商品を自由に売買することができました。これにより、一定の秩序が保たれ、経済的に安定した状態が維持されることを目指しました。

AIの進化がもたらす面白さや便利さを、ぜひ体験してください



情報活用能力年間指導計画のチェックを！

情報モラルコンテンツ (GIGAワークブック)

✓ 担当者が作っただけになっていませんか？

✓ 年間指導計画を校内で共有できていますか？

✓ 必修のプログラミング教育も履修していますか？

✓ 年間指導計画にチェックを入れ見直してみましよう！



ダウンロードはこちら

徳島県情報モラル教育サポートサイト

<https://j-moral.tokushima-ed.jp/>

問い合わせ
教育DX推進課
☎: 088-621-3099